

川の滞在

可^ヤ牙^グに入る。人家約六十市の開設なきも、馬糧の調辨は、葉城縣よりは此地に於てするを廉且つ便とするが故に此に一日滞在せり。(因に此の地を調辨せし馬糧の大分は此の地に調辨せし馬糧の三分)各駱駝に分駄し、(各馬に分駄し)餘は氣候は十月始めて氷を見、三月に至りて解く、四月に下種して、七月以下九月に亘り收穫す、降雪は深さ一尺五寸内外、雨期は六月より八月間なるも前後約十回位に過ぎずと。是日行程約十里餘、氣候一變、俄に冷氣を感ず。

二十日午前六時三十分發、約一里半、プサ (八家)に到り、小憩三十分時、其れより約十四里 アクメチに着す。蓋しプサ附近は、谷稍々開けるも、他は狹谷沙磧地を爲し、沙山左右に夾めり。アクメチに近づくに隨ひ沙崗と變じ、其の低地には、芟々草叢生し間々耕地ありて牧羊多く、處々緩傾斜の坂相踵ぎ且つ岩石少なからず。アクメチは人家僅に五戸のみ。

三、崑崙の第一次嶺 アッコラムを越ゆ

二十一日午前七時出發、之を第六日の行程と爲す。路は次第に崑崙山中に進みて、愈々嶮惡の狀況を呈せり。是日は前途の第一次嶺 アッコラムを超えざるべからず。地は是れ無人の境河は爰に數十回の徒涉を已むなくせしむ。

アクメチ